

レジメンcode:	C90-11
適応がん種:	多発性骨髄腫
レジメン名:	PVd療法(皮下注)
間隔:	3週間

備考

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
BOR	ベルケイド	1.3	mg/m ²	皮下注	1~8サイクル(d1.4.8.11)
	ポマリスト	4	mg	[*1] 内服(朝食後)	d1~14
	[*2] レナデックス(≤75歳)	20	mg	[*1] 内服(朝食後)	1~8サイクル (d1.2.4.5.8.9.11.12)
	[*2] " (>75歳)	10	mg	"	
	"				≥9サイクル(d1.2.8.9)

1~8サイクル(day1.4.8.11)、9サイクル以降(day1.8)

- 1) ベルケイド 1.3 mg/m²
 生食 1.2ml
 皮下注 1.2ml/1V 溶解後必要量調製
 〈所要時間 - 〉

day1~14

- 1) ポマリスト 4mg 1 C/day
 内服 [*1] 朝食後

1~8サイクル(day1.2.4.5.8.9.11.12)、9サイクル以降(day1.2.8.9)

- 1) レナデックス[*2] (≤75歳) 4mg 5錠/day
 (>75歳) 4mg 2.5錠/day
 内服 [*1] 朝食後

[*1] 1~8サイクル(day1.4.8.11)、9サイクル以降(day1.8)は化学療法実施指示を確認後、内服すること。

[*2] レナデックス75歳以下は20mg/day、75歳を超える場合は10mg/day。

連日[*3]

- 1) バイアスピリン 100mg 1錠/day
 バクタ 1錠/day
 アシクロビル 400mg 0.5錠/day
 内服 朝食後

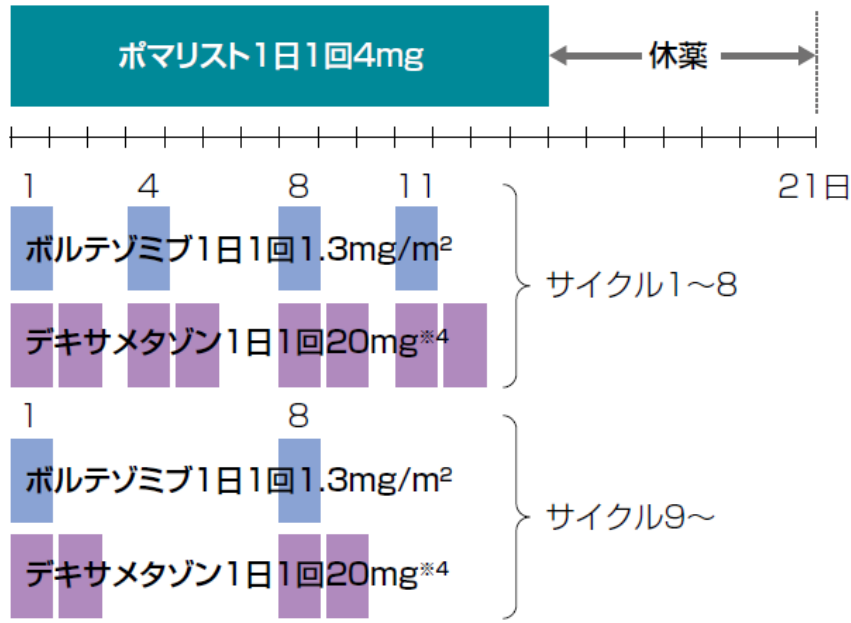
[*3] 血栓塞栓症、ニューモシスチス肺炎、带状疱疹の発症予防のため上記薬剤の内服が推奨されている。

次ページあり

◎注意事項

ポマリストは、ヒトで催奇形性を示すサリドマイドによく似た薬剤であり、胎児への暴露予防を目的にその流通および使用が適正であるかを管理・評価する「ポマリスト適正管理手順 (RevMate:レブメイト)」が定められている。RevMateは、医療関係者、患者さんとそのご家族等、すべての方に理解し遵守していただくことが必要である。

<治療スケジュール>



※4：76歳以上の患者では10mgへ減量を考慮してください。75歳以下でも、合併症や全身状態により、減量を考慮してください。